

「A」次の文の（訳）の「」に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

1 死期はついでを待たず。死は前よりしも来らず。かねて後ろに迫れり。（徒然草）

- （訳）（人の）死ぬ時期は順序を待たない。死は必ずしも前からやって来ない。「」背後に迫っている。
①前もつて ②ゆっくりと ③いつの間にか ④少しずつ

2 木霊などいふ、けしからぬかたちも現るものなり。（徒然草）

- （訳）（主人のいない家には）木霊などという、「」物も現れるものである。
①許されない ②異様な ③おもしろい ④神妙な

3 昔、若き男、けしうはあらぬ女を思ひけり。（伊勢物語）

- （訳）昔、若い男が、「」女を好きになった。
①悪くはない ②見慣れない ③容貌の美しい ④見るに堪えない

4 仁和寺にある法師、年寄るまで石清水を拝まざりければ、心憂くおぼえて、ある時思ひ立ちて、ただひとり徒歩より詣でけり。（徒然草）

- （訳）仁和寺にいる法師が、年を取るまで石清水八幡宮に参拝しなかつたので、恨めしく思われて、ある時決心して、ただひとりで「」参詣した。
①意地で ②気ままに ③歩いて ④黙々と

5 わざとの僧膳はせさせ給はで、湯漬けばかり給ふ。（大鏡）

- （訳）（道長殿は僧たちに）「」食膳は用意なさらずに、湯漬けのご飯だけを振る舞いなさる。
①本格的な ②派手な ③大仰な ④平凡な

6 冬枯れのけしきこそ、秋にはをさをさ劣るまじけれ。（徒然草）

- （訳）冬枯れの様子は、秋には「」劣ら「」。①まったくないだろう ②まあまあないだろう ③ほとんどないだろう ④それでもないだろう

7 この事、あなかしこ人に披露すな。（平家物語）

- （訳）この事は、「」人に言いふらし「」。①もうくてもよい ②決してくはいけない ③できればくはいけない ④そうやってくは回りなさい

8 二十八日、よもすがら雨やまず。今朝も。（土佐日記）

- （訳）二十八日、「」雨が止まない。今朝も（降っている）。
①一晩中 ②夜明けから ③夜になると ④一日中

「B」次の文の（訳）の「」に入る語句を答えよ。

9 あなかま、人に聞かすな。いとをかしげなる猫なり。飼はむ。（更級日記）

- （訳）「」、「」人に聞かせてはいけない。とてもかわいらしい猫だ。飼おう。

10 さが尻をかき出でて、ここのら朝廷人に見せて、恥を見せむ。（竹取物語）

- （訳）そいつの尻をまくり出して、「」の役人に見せて、恥をかかせてやろう。

11 人の臥したるを、奥の方よりやをらのぞいたるも、いとをかし。（枕草子）

- （訳）人が寝ているのを、奥の方から「」のぞいているのも、とてもおもしろい。

12 かたみに思ひあふことかぎりなし。（宇治拾遺物語）

- （訳）（男と女は）「」「」愛し合うことこの上もない。

解答

【新三年生用】 古文単語330三訂版 P 2 4 6 ～ P 2 5 3

- 1 「①」
- 2 「②」
- 3 「①」
- 4 「③」
- 5 「①」
- 6 「③」
- 7 「②」
- 8 「①」
- 9 「しつ、静かに」
- 10 「たくさん」
- 11 「そつと」
- 12 「たがいに」